

社会福祉法人小羊学園 事業所名: 児童発達支援事業所 在宅支援センターびびるす

事業者向け 児童発達支援自己評価票 (集計結果)

チェック項目		事業所評価として結論付けた個所にチェックを入れています。			改善目標 工夫している点
		はい	どちらかといえば	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	2	・近くの公園を利用している ・自由に使える園庭がないのは辛い、今は散歩も難しい時代なので ・午睡時、パニック時など個別対応のできるスペースがもう少しあると良い。事務所、テラスを利用している ・幼児一人当たりのスペースとしては狭い。他と比較すると差がある。少人数での活動で工夫
	2 職員の配置数は適切であるか	8	0	1	・フリーで働ける職員がいると余裕があつてよい ・電話、事務職員がいると保育への影響が減るかも ・子どもの対応によっては他クラス、放課後担当職員の応援をお願いしているが、休みにくさはある ・子どもに対して人数が多い時はフリーに出ている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	0	・イラスト等の工夫をしているが、日々工夫は必要と思う ・収納が少ないため、様々な物が棚の上に出ている。気になる児には布で隠すなどしている
業務改善	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	1	・午睡時の寝具は個別の物が良い ・コロナにより清潔、消毒に対して敏感になり、子どもたちへの配慮もより細かくなっている。日々の清掃に加え、使用度の清潔作業が行われている ・収納スペースがなく生活の場に積み上げられているので危険 ・施設全体の部屋の配置を考えた方がよい。動線が曇る
	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	1	・会議の中で話しをする機会を設けている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	1	・保護者の話しを聞く機会が少ない ・保護者の思いを聞き出すようにしている。言葉の裏にあるものを常に考えるようにしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	1	・会議の中で自己評価表を提示し話あっている ・評価や改善点について確認した。回を重ねていけるとよい
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	2	・外部評価はしていないが第三者委員会を設けている。
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	1	・コロナ禍で参加できることが少なかった ・研修への参加が少ない。現在、他のクラスからの手伝いが入れるため平日の研修も考えていけるとよい
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	・保護者の思いを聞き出すようにしている
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	2	・定期的なツールそのもの見直しは必要ではないかと感じている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	1	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	・クラス職員全員で毎日見直しをし、支援方法が合っていれば改善している
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0	・主担当が決めたことに対して意見等出せる ・できる時とできない時がある。「こういふものをしたい」ということは伝えてある
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	・同職の人に相談したり本をよんだりして情報を入れるようにしている
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	・個別というよりは少人数のものをやっている。個別は子どもたちが望んでいると感じている
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	5	0	・主担当からの指示を受けて段取り、準備ができている ・以前よりできるようになっている ・週1回、クラス担任全員が送迎に出ない日を設けた
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3	0	・じっくり話をするには時間が足りないように感じるが、話す機会を増やす工夫をしている(朝、夕の時間の使い方) ・なるべく行うようにしているが、時間がなくてできない時も多々ある ・できるようにした。評価を「次にどう活かすか」に焦点をあてて話すことを定着させたい	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	0	・記録のとり方を定期的に見直すことが必要に感じる	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	・回数が少ないのでは。評価の時期や内容をしっかり考えて共有したい
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	0	・できている家庭と、必要ではあるがあまりできていない家庭とに分かれる
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	7	0	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	7	0	・入園する時に主治医と連絡がとれやすい関係をつくれるとよい。相談員に入ってもらう等
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	0	・学校とはスムーズに行えるが、幼稚園などの情報共有が難しい。望まない園もあるためお互いの役割をどう考えるか悩む
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	0	・引継ぎでの確認ができています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	2	・パート職員が参加することは難しいが、正規職員から報告・話しがある ・大いに必要と感じます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	8	・近くの幼稚園や、関係がある場所での交流ができると良いと思うがコロナ禍で難しい ・交流を望むのかをご家庭にアンケートをとってみるのもよいのでは
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	0	6	・参加報告をしていけるといいのでは
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	・ノートのみでなく気になることがあれば、こちらから電話をして話しをしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	5	・家族支援プログラム専門性のあるものが必要 ・プログラムは行っていないが、日々保護者への連絡、話しを聞きアドバイスできることはしている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	・相談を複数人で共有し、答えるようにしている。安易にこたえないようにしている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	9	・父母の会はない ・コロナ禍でクラス、園の一斉参観ができず、保護者同士の連携が難しい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	・保護者からの申し入れがあれば事業所内で検討し結果を保護者へ伝達している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	・毎月のお便りを出している ・活動内容の説明(活動の意図などを伝えていけるとよい)
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0	・事前に了承を得て対応している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	・どの方法がわかりやすいのかを常に考えている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	7	・コロナ禍で行事も難しい現状がある
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	1	・毎月の防災訓練は行っているが、災害時の保護者との連携については、不十分であると感じる ・足りないところが多いと感している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	0	・訓練のあり方を定期的に見直していきたい
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	0	・今一度見直しの必要があると思う

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	0	・入園する時に書類を提出してもらうなど丁寧に行いたい
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	0	・ヒヤリハット報告があった時は、会議の中で伝えている ・小さなヒヤリハットなど月1回くらいはクラス内でも話し合い共有してもよいのでは
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	・会議の中で議題として挙げられ話す機会があった ・指導と思っで行っていることが、他から見て適切ではないということがあるため会議などで振り返る機会が大切だと思う
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	2	・身体拘束が必要になった時は対応を丁寧にする。虐待ととらえられないような配慮が大切 ・身体拘束の必要なし

社会福祉法人小羊学園 事業所名:放課後等デイサービス つばさ静岡たんぼぼ

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価票 (集計結果)

チェック項目		事業所評価として結論付けた個所にチェックを入れています。			
		はい	どちらか に該当	いいえ	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			感染対策で以前以上に利用者間の距離に意識して設定している
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			アンケートの内容を共有し、カンファレンスをもって改善している
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年実施し公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			施設内研修に参加している
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を等を共有しているか	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、外部との交流は控えています
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		施設内で行っています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス鋭角に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		